

NO.
28



岩田とも子

県議会レポート



発行所/〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先/立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

2月24日、ロシアのプーチン政権はウクライナに武力侵攻しました。熊本県議会では3月2日、「ロシアのウクライナ侵略に対する決議」を全会一致で採択し、戦争反対の意思を示しました。

今や、ウクライナの避難民は300万人とも言われています。(3月15日時点)逃げ惑う女性や子どもや高齢者の姿を見ると、怒りと悲しみでいっぱいになります。「障害」のある人はどうしているのだろう、妊婦や産後の人たちや赤ちゃんはどうしているだろう、ペットの動物たちはどうしているだろうかと思わずにはいられません。人間というものはこうも進歩をしないものなのかと嘆くばかりです。戦争反対 戦争反対と何度でも叫びたいです。

立憲民主連合の仲間達と上通りビブレス前で、ウクライナ難民支援のための国連の難民高等弁務官事務所への募金活動をしました。わずか30分の募金活

動を2日間のみでしたが、11万円近くも集まりました。若者たちが「戦争はいかん」と言いながら、財布の中からお金を募金箱に入れる姿がありました。

平和が一番!平和を守るために平和の尊さを知る努力をしていかねばなりません。



戦争反対!

2022年(令和4年)度は私の2期目の議員活動の最終年となります。6月と12月に一般質問を予定しています。

2月定例議会

定例議会は2月18日開会し3月16日閉会しました。

令和3(2021)年度熊本県一般会計補正予算959億円を増額し、補正後の一般会計は1兆983億円となりました。

主な内訳は

- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 56億円
- 災害からの復旧・復興や国土強靱化への対応 440億円 などです。

令和4(2022)年度当初予算は9030億円となっています。

主な内容は

- 令和2年7月豪雨からの創造的復興 338億円
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 1116億円
- 熊本地震からの創造的復興 224億円
- 将来に向けた地方創生の取り組み 157億円
- 半導体産業集積や高度情報化、移住定住の推進、交通安全水準の向上への取り組み 104億円
- 球磨川流域における緑の流域治水の推進 143億円
- 水俣病問題への対応 93億円 などです。

有明海・八代海再生、及びゼロカーボン社会推進特別委員会

くまもとゼロカーボン行動ブックが完成し、県民運動として取り組むことになりました。アサリの産地偽装問題では熊本ブランドの信用失墜ということで、2ヶ月熊本産あさりの出荷停止後、偽装防止の徹底とアサリ生産の転換に取り組むこととなります。

教育警察常任委員会

成年年齢が18歳になることで、それぞれの関係規定の整備が行われています。教育委員会の2022年度予算の主なものは、県立高校の空調関係経費の公費負担への移行に向けた空調未設置の学校への整備、スクールソーシャルワーカー(624時間増)やスクールカウンセラー(156時間増)の充実、「魅力ある県立学校づくり」として、高森高校マンガ関連学科の設置整備、夜間中学の整備などです。また、教員の働き方改革の一環として給食費の公会計化を推進するための熊本県学校給食費等の管理に関する条例も制定されました。

SDGs(誰一人取り残さない持続可能な開発目標)に関わるヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」とは、介護や病気の家族のケアなどを担う18歳未満の子どものことを示す言葉です。熊本県では2021年9月に学校(県内公立小学校を教育事務所単位で2校ずつ抽出、県内すべての中学校、県内すべての高等学校)と生徒(県内すべての中学2年生と県内すべての高校2年生)を対象に、ヤングケアラーの実態調査を実施しました。

ヤングケアラーが「いる」と回答した学校の割合は、年齢が上がるほど増加する傾向があること、自分がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した生徒の割合は、全種別で一定割合存在すること、世話をしている家族は「きょうだい」と回答した割合がもっとも高いこと、世話をしている家族が「いる」と回答した中高生のうちどこにも、誰にも相談した経験が「ない」の割合は7割以上であることがわかりました。

自分がヤングケアラーなのかわからないという子どもたちもいます。自分のための時間が使えず、家族の世話や家事を担わなければならない状況なのに、それがあたりまえになっているのです。そのことで学業を諦めてしまう子どもたちがいます。友達と遊ぶ時間や睡眠時間がとれない子どもたちがいます。埼玉県では「ケアラー支援条例」も成立しています。熊本でもヤングケアラーへの支援を進めていく必要があります。

※調査結果は、
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/36/126814.html> に掲載中です。



採択された意見書

■ 地域創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

■ 適格請求者等保存方式導入(インボイス)に係るシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書

今定例会での議長、副議長の解任に伴い、新たな議長として溝口幸治議員が、副議長として高野議員が選挙により選任されました。

岩田とも子の政治活動

facebook
やっています!



ウクライナの難民支援のための募金活動をしました。



自伐型林業の現場に会派の仲間とでかけました。林道を作っているところを見せていただきました。



2月23日県政報告会を対面とリモートのハイブリット形式で開催しました。会場にもたくさんの方が集まりました。後援会長の阿部ひるみさんからも意見発表がありました。



3.8国際女性デーでウイメンズマーチに参加しました。小学校教員時代に担任していた子も参加していて、久しぶりの再開でした。



県立大学の4人の学生がインターンシップで議員活動を体験しました。「働きやすい熊本作り」の政策づくりも体しました。